



結ぶ

徳島東部
12市町村

mu
su
bu

Vol.4

徳島東部 12市町村 結ぶ Vol.4

2014年3月発行 発行 徳島東部地域定住自立圏推進協議会事務局 〒770-8571 徳島県徳島市幸町2-5 徳島市企画政策局企画政策課内 ☎088-621-5085 編集・印刷 太陽高速印刷有限公司

歴史のヒント

今切川の橋めぐり [松茂町]

定住自立圏取組情報

地域特産品を生かしたブランド化
及び地産地消の推進

市町村特集

いっきゅうと彩の里・かみかつ **上勝町**

新たな町のシンボルゾーン
戦国浪漫あふれる町 **藍住町**

ブランドのチカラ

- なかのファーム [北島町]
- 日の出楼 [徳島市]
- 岡萬本舗 [石井町]
- JA東とくしま よってネ市 [勝浦町]
- 宮本製菓 [神山町]

クイズで商品ゲット

人を結ぶ

阿部 剛さん

板野町商工会青年部
部長(板野町)



強い結びつきが生んだ特産品

Q お生まれは…?
昭和48年に徳島市内で生まれました。自動車販売の営業をしていましたが、平成12年に結婚を機に、板野町に移り住み妻の実家の自動車修理業を継いでいます。

町は以前から農家さん、苗屋さん、漬物加工業さんが盛んでしたが今回、町行政のバックアップに支えられ、板野町認定農業者連絡協議会と商工会との連携により町の特産品としての位置づけができたことは強い結びつきがあったからではないでしょうか。

Q 町の印象はどうでしたか…?
最初は畑の多い農業の盛んな所だな〜って感じていましたが、ちょうど板野インターチェンジの工事が進んでいましたので、町の姿も変わるんだろうなと想像していました。

Q 生まれ変わったら 何処に住みますか…?
今年の3月で青年部は卒業させていただきますが、いい人ばかりです。生まれ変わっても一緒に仕事をしたいと思いますよ。「いたのすけ」の第3弾福神漬が昨年11月に発売されましたが、今後の課題としての流通の問題も解消しながら、第4・5弾へと広げて行く一助になりたいです。

Q 商工会青年部部長を務められていますが、「つけもの侍 いたのすけ」は大ブレイクしましたね…?
青年部に入って10年になりますが、ご近所や町内の方とのお付き合いが随分広くなりました。昨年は「とくしま食材フェア2013」にも参加させていただき、徳島東部の食材などの豊富さに驚き、他の地域の方とも知り合いになったことは私の財産の一つになりました。



とくしま食材フェア2013にて



商工会の仲間たちと



「いたのすけ」の第3弾 福神漬

次号予告

平成26年夏発行予定

- 市町村特集 佐那河内村・板野町
- 定住自立圏取組情報
- ブランドのチカラ プレゼントが当たるクイズもあります。

冊子の設置場所

12市町村役場 / 徳島市立図書館 / 小松島みなと交流センター-kocolo / 道の駅「ひなの里かつら」 / いっきゅう茶屋 / 佐那の里 / JR石井駅 / 神山温泉 / 松茂町歴史民族資料館 / 北島町立図書館・創世ホール / 藍住町立図書館 / あせび温泉 / 枝の館 (ほか)

「徳島東部地域定住自立圏」とは!?「結ぶ」って!?
徳島市を中心として周辺の11市町村と連携して「徳島東部地域定住自立圏」を形成し、12市町村が役割分担しながら連携・協力することで圏域全体の発展に向けたさまざまな取り組みを展開しています。本誌は徳島東部12市町村の住民の皆さんが「徳島東部地域定住自立圏」の魅力を知り、取り組みに参加することにより、市町村の枠組みを越えて、お互いが交流し結びつきを深める「=結ぶ」ことを目的として発行しています。

【参加市町村】
徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町

歴史の
ヒント

今切川の橋めぐり

いま
され
がわ



手前より加賀須野橋、新しい加賀須野橋(工事中)、新加賀須野橋、今切川橋(工事中)

く、大河の風格を
湛えています。

ただ、この「吉野川」の名称は、明治時代までは定まったものではなく、派川(分流)である撫養川・旧吉野川・今切川なども、江戸時代には「吉野川」と通称されていた。

明治29年(1896年)、国(陸軍陸地測量部)が地形図を作成するにあたり、初めて河川に正式名称が定められ、幹川(本流)を「吉野川」とし、他の派川にも名前が決められました。

当時の本流は現在の旧吉野川で、現在の吉野川は「別宮川」と名付けられました。その後、昭和2年(1927年)の吉野川第一期改修工事の完成によって、別宮川が本流「吉野川」に変更され、それ以前の本流が「派川(旧吉野川)」となりました。



可動橋のある風景は今切川ならではの

松茂・北島両町と徳島市との間を流れる「今切川」は、板野郡上板町で本流から分かれた旧吉野川が、更に北島町高房で分かれた派川です。川の両岸には、住宅・ショップ・センターや数多くの工場が並び、まるで都会の運河のようです。なかでも北島町鯛浜の県道徳島鳴門線「鯛浜橋」から下流は川の両岸に多くの岸壁が整備され、原材料を積み込んだ貨物船が川面を行き交っています。

そのため「鯛浜橋」よりも下流では、今切川の舟運と陸上交通を両立させる必要があり、様々な工夫が凝らされています。

上流側から、県道徳島北環状線の「共栄橋」、四国横断自動車道の「今切川橋(工事中)」、国道1号「新



明治時代に構想された可動橋の模型(同館所蔵)

加賀須野橋」は、橋梁の下を貨物船が通過可能な大鼓橋(道路高が水面から約20mの高架)になつています。

県道川内大代線の「加賀須野橋」は、今も現役の可動橋で、県内で唯一のもので、毎日、時刻表にしたがって中央部を跳ね上げて、航路を空けています。開橋時に貨物船が通過する様子は、今切川ならではの特長的風景です。ただ、同橋は開閉部が狭く、また老朽化したことから、平成26年現在、新しい昇開式可動橋への架け替え工事が進められています。



今も通学の足として欠かせない長原渡船

なお、今切川の北岸松茂町広島にある松茂町歴史民俗資料館には、明治時代に旧川内村(現徳島市)が構想した「引き込み式木造可動橋」の模型が展示されており、可動橋「加賀須野橋」の原点を見ることが出来ます。

そして最下流の河口近くには、橋ではなくて「長原渡船」が運行されています。河川を横断する渡船としては、県内唯一のもので、県道古川長原港線の一部として無料で運行されており、1日平均約30人の利用があります。



松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館

板野郡松茂町広島字四番越11番地1
TEL. (088) 699-5995

■開館時間/ 9:00~17:00 (木曜日は、~21:00)
■休館日/ 月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)、第3火曜日(祝日の場合は開館)、12月28日~1月4日
■入館料/ 無料

旧吉野川・今切川と苦楽をともにした松茂町の歴史・民俗と、阿波の民衆が愛した人形浄瑠璃芝居をテーマとする資料館です。毎月第3土曜日の午後には、人形芝居の無料公演も実施しています。

musubu NEWS

徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの連携事業

「地域特産品を生かしたブランド化及び地産地消の推進」

とくしま食材フェア
2013が平成25年11月16日(土)・17日(日)の2日間、徳島市の藍場浜公園で開催されました。とくしま食材フェアは今回で4回目。地元でとれた農林水産物の良さと魅力をPRし、再認識してもらおうことで地産地消の活用拡大を図り、地元農林水産物のブランド育成、及び地産地消を推進することを目的に、生産者と消費者の出会いと交流の場として開催されています。



餅投げ!
みんなステージに集合

出展数は過去最大に

今回は、とくしま地産地消推進協議会よりJA徳島市青壮年部や徳島市漁業協同組合など18団体、とくしま地産地消推進協議会特別会員(徳島東部地域定住自立圏連携市町村)の11市町村、とくしまIPPIN店認定店の11団体や徳島県食肉事業協同組合連合会、徳島市民菜園推進協議会、学校給食、NPO法人アライブラボ、おしゃべりくまさんなどの4団体が出展しました。天候にも恵まれ、来場者数も2日間約2万7千人となり盛大なものになりました。

来場者とふれあつて

初日の開会式では恒例となった餅投げを行い、阿波おどりのオープニングイベントでいよいよ始まりました。各ブースでは新鮮な地元産食材や加工品の売り込みの掛け声が飛び交い、早々に両手にいっぱいのお買い物をした人、慎重にいろんなブースを回って品定めする人で賑わいました。

行列ができた試食や無料配布

特に会場内に美味しそうな匂いの漂った阿波牛の試食では、肉を焼き始めると、あつという間に長い行列ができ、スタッフさんの手際の良い焼き方で次々と来場者は阿波牛をほおぼっていました。「熱いけん気をつけよ」とスタッフさん。肉がなくなると「次の試食は何時?」との声。食欲の秋を皆さん満喫していました。

豊富な東部地域の食材

コンテナに山積みされた「みかん」、テーブルに広げられた白菜・大根・しいたけなど、いけすで泳ぐ魚や所狭しと並べられたイカやボウゼ。ジュース、晩茶、ドレッシングなどの加工品と、各ブースでは特徴ある商品を販売し、来場者を飽きさせません。今後も地域住民の方や圏域内の市町村が協力し、とくしま食材フェアが親しまれ定着するよう取り組んでいきます。



大勢の来場者



行列ができた人気の阿波牛の試食



コンテナに山積み!



カラフルドレッシング



どのおにぎりやおいしいかな...



今か今か

いつきゅうと 彩の里・かみかつ

「いつきゅうと彩の里・かみかつ」のキャッチフレーズのもと、町民が「休さんのように、問題(Question)を考え、知恵を使ってまちづくりを進めています。平成25年には「持続可能な美しいまちづくり基本条例」を制定し、地域資源を活用、ITなどの革新技術を利用し地域経済や集落の活性化に取り組んでいます。



神田茶の里



天日干し



樽の中で発酵中



地域おこし協力隊百野大地さん(左) 井川組合長(右)

上勝の晩茶と 全国的な番茶って？

みなさん、番茶って安価なイメージ持っていませんか。違うんです。全国的な番茶は発酵させずに作る、いわゆる緑茶の中の蒸し茶に属するものです。一方で阿波晩茶発祥の地とされる上勝町の晩茶は、発酵茶に当たり、その中でも前発酵茶は紅茶やウーロン茶、後発酵茶が「上勝晩茶」です。製法の大きな特徴として茶葉を一度発酵させるのが全国に類をみない独特の製法と言えるのです。

神田地区 「上勝神田茶生産組合」では

神田地区にはその昔、神龍が住むといわれた霊峰龍山を望むところに神田茶発祥の地があります。日当たりの良い山の斜面に寄り添うようにできた集落で毎年、品評会を開き、消費者がより満足するものを生産し、「阿波晩茶」の逸品として評価されてきました。組合長の平井敏彦さんは、「今後は販売網を確立し飲むだけでなく、より多用途に晩茶が活躍できるように試みをするのが大切です。」とおっしゃいました。

晩茶の可能性は ∞(無限大)

次に「いろいろ晩茶生産組合」の井川圭太郎組合長を訪ねました。井川さんは、「いろいろインターンシップ」を受けた時の昼食に出していたいた晩茶の味がおいしくて、いっぺんに上勝町が気に入ったそうです。平成24年には町の皆さんのご協力もあり現在の組合を起業し、「いろいろ晩茶」を発売。ヒット商品「いろいろ晩茶500ml」(晩茶初のペットボトル)を発売。以降、ティーバックや最近では「阿波晩茶塩」も発売しました。現在、上勝町地域活性化認定事業として晩茶文化の発展に貢献するため、担い手の安定や伝統を守る責任、信頼、工夫に努めながら様々な可能性にチャレンジしていきます。



いろいろ晩茶



神田茶

藍住町は室町時代後半に阿波守護、細川氏によって守護所が置かれ、戦国時代には三好氏が本拠とした地です。そのため室町時代から戦国時代にかけて、阿波の政治・経済文化の中心として栄えました。藍住町では史跡勝瑞城館跡を地域の貴重な歴史文化遺産としてとらえ、その保全と保護を目的に整備を行っています。



新たな町のシンボルゾーン 戦国浪漫あふれる町

徐々に明かされる 勝瑞城館跡

勝瑞城館跡は戦国時代に阿波の実権をにぎった三好氏の居城跡であり、遺構の保存状態も良好に保たれています。平成6年度から発掘調査がはじまり、調査が進むにつれ多くの遺物や遺構が見つかり、その内容は、全国的にも一級品であることが分かってきました。

そのため平成13年1月に国史跡に指定され、保護されることとなりました。さらにその後の発掘調査によって指定地の外から大規模な建物跡や庭園が見つかり、勝瑞城館跡は当初考えられたものより遙かに大規模であることが判明し、平成19年2月に追加指定を受けました。これまでの19回におよぶ発掘調査では庭園遺構や茶道具、希

学びの場、そして 憩いの空間へ

中世阿波の政治と文化を語る上で欠くことのできない遺跡として、貴重な価値を持つ勝瑞城館跡は「学びの場」としての有効利用や「憩いの場」として活用が考えられます。町の中にありながら、広いスペースを持ち、そして交通の便も比較的良好です。これを史跡公園として整備することにより、レクリエーション施設、あるいは観光施設として藍住町の新たなシンボル空間が誕生することになります。

戦国のもてなし 料理を再現

昨年、藍住町では三好氏が室町幕府の足利義輝をもてなしたと伝わる料理の再現を藍住町内の料理店「吉野屋」さんの協力を得て試みました。永禄4年(1561年)、京都の三好邸で長慶の子、義興が將軍をもてなしたことが「三好亭御成記」に記録されており、このときの献立、お膳89品の中から吉野屋さんが本膳のうち13の料理を選んで二つのお膳が販売されています。

現在、藍住町は大型ショッピングセンターや交通の便を生かした企業の立地が進み、そこに集う人々も増加しており、かつての古き時代を彷彿とさせてくれます。



吉野屋 大塚 計次さん

町教育委員会から戦国時代のもてなし料理の再現を依頼され、素材選びや調味料などを調べるうちに大変なことを引き受けてしまったと思いました。まず450年前に使われた材料が揃えにくいのが分かり、それに味付けに使ったのは塩、水、酒、味噌からとれた「たまり」だけで砂糖、醤油は一切使わず、調理しなければならぬのです。元別府大学短期大学部の江後先生の指導、助言のもとようやく完成しました。現在一週間前にご予約いただく、お料理を提供できるようになりました。



吉野屋 藍住町奥野字前川118 Tel. 088-692-2203



戦国三好御膳

クイズに答えて 「ブランドのちから」商品をゲット

正解者の中から抽選で19名様に、プレゼントが当たります。



問題 名東郡佐那河内村には
○○の「常会」があります。

(○○内の数字を入れてください) ※ヒント/赤穂浪士の人数は?

応募方法

官製はがきに、①クイズの答え、②プレゼントの希望の商品名、③郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号、④本誌「結ぶ」に対する感想や要望を、ご記入の上〒770-8571 徳島市幸町2-5 徳島市企画政策課内「結ぶ」プレゼント係へ平成26年5月10日(必着)までにお送りください。

(お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの送付とそれに係る業務のみに利用します)

【当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます】

小松島市
ベネム K・M
義経夢想祭

毎年2月は義経夢想祭。平安当時の衣装に身を包んだ源義経、弁慶、静御前と共に、義経ゆかりの地を歴史とロマンを求めて歩く。出発は義経軍が勢揃いし、白旗を立てて土気を鼓舞した旗山。早春の風は心地よく、菜の花の鮮やかな色彩に季節を感じながら、弦張坂、弦巻坂、弁慶の岩屋、新居見城跡、源義経公像と歩を進める。

ふと、情性的に日々を過ごす自分自身に気が付いた。

歴史は一日の積み重ね。時代の先駆者は日々精進し、偉業を成し遂げた。源義経公像を眼前に、「一時」を大切に生きることを学んだ。

編集雑記

Vol.4

上板町
ベネム つぎやまなひ。

「上板sg」って知ってる？」

上板町では、昨年7月から、特産物の販売を「上板sg」で始めた。これは佐賀県武雄市発信の地域振興を目的としたインターネット物産販売サイト。

私のおすすめは、友人の出産祝いにプレゼントした阿波藍染「ベビーギブセット」。国産オーガニックコットンを阿波藍で染めた、コンビ肌着ソックス・ハンドタオルの3点セット。藍は防虫・防臭効果があることで知られ、最近の研究で遠赤外線による保温・放熱効果、UVカット・抗菌効果などがあるとされ、洗うほどに柔らかく、安心素材で赤ちゃんにぴったりです。サイトの紹介写真は、私たちが職員が実際に物産を手に取り、身につけ、商品のビジュアルを行っています。

「上板sg」で、さあ検索♡。

表紙の写真と佐那河内村



- 昨年の12月28日に佐那河内村日浦地区で「佐那河内もっちもち祭り」が開催されました。これは大川原せーびんぐネットワーク主催で学生団体Frontier Studentと根郷いきいき塾の共催で村の一人暮らしの高齢者の方に「ついたお餅をおすそわけしよう」というイベントです。当日は県内外の学生32人と近所の子どもたち総勢50人以上が参加しました。
- 佐那河内村には古くから伝わる「講中」と呼ばれる相互扶助組織や「常会」「名中」と呼ばれる住民自治組織が多くあります。現在47常会があり、加入率、出席率共に90%以上となり毎月1回の定例会では行政、農協地域行事などの連絡事項やコミュニケーションを図る場となっています。平成23年9月に設立された「根郷いきいき塾」では根郷名中(中津・日浦・中浦・尾端の四つの常会の集合体)が発端となり住民はもとより村内外の人々と交流を深め、元気に、明るく、生き生きとした集落づくりのために活動しています。

Power of BRAND



JA東とくしま よってネ市 【勝浦町】

みかんの里の新鮮産直市

平成22年5月の改装オープンからまもなく5年目を迎えるようとしているJA東とくしま「よってネ市」は近郊からはもちろん、県外からも多くの買い物客を集め賑わっています。JA東とくしまに所属する会員約290人が安全・安心な農作物をお客様にお届けできるよう努力しています。みかんやかんきつ類全般、しいた

け、いちごなど丹精込めて育てた季節の新鮮野菜や果物を中心に販売しています。よってネ市スタッフは店長はじめ女性がほとんどでチームワークよく細やかな心配りで接客に努めています。勝浦にぜひお越しください。

JA東とくしま よってネ市
●勝浦郡勝浦町大字生名字太田45-1
●TEL.0885-42-4930
●FAX.0885-42-4933

PRESENT

貯蔵みかん
1000円分
(3名様)

※貯蔵みかん品切れの場合は他のかんきつになります。



宮本製菓 【神山町】

雨乞の滝にちなんだ銘菓

宮本製菓はこの地で創業以来、和菓子作り一筋に歩んできました。現在、ご主人と家族2人の3人でお菓子作り励んでいます。店を代表する商品は当地の名瀑、雨乞の滝にちなんだ雨乞の滝羊羹です。お客様の声はあっさりして食べやすいという評判をいただいているようです。その

他に宮本のういろ、深山鹿、干し柿ブッセ、すだち香町などが売れ筋で夏には神山の名品、青梅を使用した梅しみが人気をよんでいます。店頭他、町内の道の駅、神山温泉で販売しています。

PRESENT

雨乞の滝羊羹
1本
(5名様)

宮本製菓
●名西郡神山町神領字西野間29-1
●TEL.FAX 088-676-0508



日の出楼 【徳島市】

ちょこっと贅沢、おとなのプリン

徳島市二軒屋町で代々続く老舗の日の出楼は金毘羅神社の門前で餅屋としてスタートしました。和布羊羹や阿波ういろなど数々の定番商品の他に若者をターゲットとしたプリンを考案したのは6年前のこと。徳島の和三盆糖を使い、上品な甘さと滑らかな口だけのプリンに仕上げています。お客様の

評判も上々で県外へのお土産として人気をよんでいます。これからも和三盆糖やもちごなどの他県に誇れる食材を積極的に使い、販売拡大を目指しています。なめらかぶりんは徳島市観光ステーションや駅地下キヨスクなどで販売中です。



日の出楼
●徳島市二軒屋町1-8
●TEL.088-622-6775
●FAX.088-654-2062
●http://www.hinodero.com

PRESENT

和三盆 なめらかぶりん
4個入り
(3名様)



石井町イメージキャラクター
ふじっこちゃん

岡萬本舗 【石井町】

老舗ささえる技術と信頼

創業は明治35年ということ今年で実に112年の老舗の和菓子店です。岡萬本舗といえば、ふち餅を思い浮かべるほどブランド品として定着しています。このふち餅は初代店主の岡田萬吉氏が優美な藤の花になぞらえて創作した餅菓子です。昔も今も原材料にはこだわりを持ち、もち米は近江の天日



なかのファーム 【北島町】

まるやかで純なクリーミースイーツ

北島町鯛浜の住宅街になかのファームの工場があります。なると金時の「甘姫」を使い、スイーツを始めとするなると金時を使った各種スイーツを手作りしています。芋本来の味を重視するため、まずなると金時を焼き芋にしてからスタッフが一つひとつ手間をかけて作っています。こうして作られたスイーツは甘さ控えめ、まるや

かで上品な口どけです。もちろん保存料や添加物などは一切使っていません。工場の立ち上げは約1年前で、主に東京のカフェに出荷しています。ハーブティーやワインにも合うと好評を得ています。あるでよ徳島や徳島市観光ステーション、徳島とくとつ手間をかけて作っています。こうして作られたスイーツは甘さ控えめ、まるや



なかのファーム
●板野郡北島町鯛浜字向16番地
●TEL.FAX.088-698-5279
●e-mail.nakano-farm@virty.jp
●www.facebook.com/nakanofarm55

PRESENT

クリーミースイーツ
5個入り
(5名様)



風土菓 岡萬本舗
●名西郡石井町石井444-2
●TEL.088-674-0038
●FAX.088-674-7828
●http://www.okaman-honpo.com

PRESENT

か津ら ふち餅
12個入り
(3名様)

